

敬老会！@特養ともしび

9月19日（月）敬老の日、特養ともしびでは、各ユニットごとに敬老会を開催しました！
少ない人数だからこそ濃密で丁寧な敬老会になったと思います(^-^)
来年こそは全員マスクを外して思いっきり笑い合いながら、皆さまのご長寿をお祝いできれば嬉しいです(*^^*)



敬老の佳き日、ご長寿のお慶びを申し上げます。
厳しい時代を生きてこられた皆様のお話、人生の大先輩として、いつもたくさんのことを学ばせて
頂いております。これからもどうぞよろしくお願いいたします。 職員一同



★敬老のお祝い膳★



各ユニットごとに、お手紙とプレゼントをお渡ししました！



「お祝のお重」



「お赤飯」



「鶴亀の練り切り」

職員インタビューコーナー

介護士になろうと思ったきっかけ

友人に誘われて、ここ高槻ともしび苑で1期生としてヘルパー講座を受講し、資格を取得したことがきっかけです。それから10年ほどは育児に専念していました。育児が落ち着きはじめたころ、まずは4時間勤務のパート職員として入社し、その後勤務時間を増やして準職員に雇用形態を変更しました。そして、勤続9年目を迎え、「正職員として働いてみないか」と声をかけていただいたことをきっかけに、今年の7月から正職員として気持ちも新たに励んでいます。



グループホームともしび 介護士 古井佐知子さん

実際に介護の仕事に就いて

入社してからずっとグループホームともしびで勤務していますが、自分には向いていると思います(*^^*)
入居者さんそれぞれに「自宅に帰りたい」、「自宅で過ごしたい」という想いは少なからず持たれていると思いますが、その想いを少しでも薄められるように、「自宅の次に居心地の良い場所」、と感じて過ごしていただけるような雰囲気と関わりを大切にしています。一方で、まだまだ試行錯誤や機転が必要だな、と思うことは、入浴が苦手な入居者さんに対してどのような声掛けや関わり方をすれば入浴に繋がられるのかな、というところです。入居者さんの想いも尊重しつつ、入浴に対する抵抗感を緩められるよう、諦めずに手立てを考え続けていきたいと思っています。

取り入れたいこと

コロナの前は、計画を立てて入居者さん一緒にファミリーレストランなどでお食事会をしていました。ここ2年以上、全然できていないので、外食ならではの楽しさや新鮮さを味わっていただきたいな、と思っています。良い気分転換にもなるので、ぜひ実現したいですね(^_^)

休日の過ごし方、ストレス対処

休日は友人と食事に行ったり、家族と買い物に出ています。外出の予定がない時は自宅で撮りためた録画を見てゆっくりと過ごすこともあり、どちらの過ごし方も好きです。ストレスは、ゼロではないですが、割り切って溜め込まないようにできるタイプなので、少し人に聞いてもらうことで解消することができています(^_^)

未来の自分

入居者さんからも、同じフロアで働く職員からも頼られる存在になりたいと思います。今後、後輩の指導育成を担うことが増えてくるとは思いますが、「人に教える」ということは自分自身の振り返りにもなり、いつの間にか自分流になっていたり間違えていたことの気づきにもなります。経験を重ねても基本を思い返し、修正しながら日々励んでいきたいです。

職場環境について

管理者の松尾さんの指導はわかりやすいですし、褒めていただいた時は、きちんと見て下さっていると実感できるのでやる気もアップします（笑）
「正職員にならない？」と声をかけていただいた時も嬉しい気持ちになりましたし、これからも、ここグループホームで自分の力を発揮していきたいと思っています。